

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会刀林会  
令和4年度第3回web理事会議事録

日時：令和5年3月29日（水）18時30分-19時35分

出席 松本理事長（52回）

web会議システムによる出席理事：

吉野（44回）、市来寄（48回）河瀬（49回）島津（53回）磯部（59回）小澤（60回）菅（61回）黒田（61回）浅村（62回）北川（65回）志水（65回）菅沼（75回）朝倉（81回）茂田（85回）近藤（88回）阿部（91回）

監事：熊井（46回）尾原（72回）

以上、web会議システムによる出席。

陪席：堤顧問弁護士、岡田税理士

国際委員会委員長：八木（77回）

選挙管理委員会委員長：菱田（77回相）

同窓会係 岡林（78回）

以上、web会議システムによる出席。

事務局 本間

定刻に至り、定款39条に基づき松本純夫理事長が議長に就任し、本日の理事会が定足数をもって成立する旨を告げ、続いて議案の審議に入った。

<報告事項>

委員会報告

1. 刀林賞選考委員会

島津元秀委員長より、3月15日に刀林賞選考委員会が開催され、いずれも極めて優秀な論文ながら、以下の3論文が選出されたことが報告された。

刀林賞 安藤知史論文

刀林奨励賞 平野佑樹論文

〃 大久保祐論文

選考委員会にて、同窓会の賞であることから、選出時に掲載雑誌のインパクトファクターが重視される疑問や、論文作成環境や努力を評価する必要があるとの意見が出たことも報告された。

2. 財務委員会

小澤壯治委員長より、3月末で令和4年度会計のまとめとなるので、次回6月の理事会で報告すると説明があった。

3. 広報委員会

石井委員長に代わり議長より、4月4日に、『刀林』121号の編集委員会が開催されると報告があった。

#### 4. 国際委員会

八木洋委員長より、今回は、遠藤泰君、森田覚君2名からの応募があった。1月に国際委員会において、メール会議を開催した、規約上1名となっているので、甲乙つけがたかったが、森田覚君に決定したと報告があった。

#### 5. 学会支援募金委員会

黒田達夫委員長より、2022年度学会支援募金の3月24日時点での募金額について以下のとおり報告があった。

第15回国際胃癌学会（北川雄光会長）	340万円
第35回日本肝胆膵外科学会（田邊稔会長）	159万5千円

#### 6. 将来構想委員会

議長より、2月7日に新委員の川村雅文君も加わり、理事長、北川雄光教授、小澤壯治理事、渡邊昌彦君（58回、北里研究所病院長）で委員会が開催されたことが報告された。

国際交流、留学支援について話し合わせ、国際交流は進めるべきで、留学支援は続行し、円安もあり30万円を50万円に、10万円の短期留学援助を30万円に増額を検討するとの意見が出たことが報告された。

また、機関紙『刀林』のペーパーレス化についてのアンケートをWebと郵送にて実施したことも報告された。

### <審議事項>

#### 第1号議案 令和5年総会の件

議長より、令和5年刀林会総会は、予算の関係上、従来のオークラ東京から、京王プラザホテルでの開催になったことが説明された。吉野理事より、明治記念館はあたってみたかとの質問があり、議長は問い合わせたが日程が合わなかったと回答した。総会のスケジュールについても説明した上で、その可否を議場に諮ったところ異議なく承認された。

#### 第2号議案 『刀林』Web化の件

議長は、会員へのアンケートの結果、機関誌「刀林」のWeb化については賛成が大多数であったため、今後段階を踏んでWeb化を進めたい旨を述べたところ、以下の審議がなされた。

吉野理事：44回生のメーリングリストにて意見を聞いたところ、条件付きの賛成である。メールをやらない会員への配慮が必要である。

議長：三四会の3月の理事会にて、医学部新聞もメールで配信を原則とすることが決定した。各学会でも機関誌はネット配信されており、方針変更の時期と考える。

堤弁護士：定款的には問題はない。

次いで、議長がこの可否を議場に諮ったところ、異議なく承認された。

### 第3号議案 国際委員会留学助成の件

留学助成の件について、以下の通り審議がなされた。

議長：今年は、森田覚君に30万円、遠藤泰君に10万円を提案する。

島津理事：規約を読むと原則一人となっているが、予算的には短期4件、留学1件と合わせて70万円なので、今回留学2件として60万円ですみ、予算内なので2人ともに30万円支給を提案する。

北川理事、志水理事、朝倉理事：2名でもよい。

吉野理事：運用細則だと、国際委員会にて選考して理事会では承認なので、まず、国際委員会において再選考する必要がある。

堤弁護士：運用規則では1名は原則となっているので、例外として2名とすることも可能だが、相応の理由が必要である。現状の規定では、例外を認める要件が設けられておらず、今後、整備する必要がある。具体的には、例えば、甲乙付け難い等の特段の事情があるなどといった例外を認める必要性に関わる要件と、例えば、総額何円以内という例外を許容する要件を設けるといふことである。

議長：選考規則を変更し、理事会にて承認、社員総会にて諮り、来年度からは2人以上でも認めることにすることを提案する。

茂田理事：30万円を2名にするより、1名の額を50万円に増額する方が留学している本人には効果的である。

八木委員長：今回できる限り多くの助成をしたいと思ったが、資金の全体額が決まっておらず、持続するのであれば持続可能額として30万円と10万円を設定した。基金の上限が決まっておらず、どう運用していくのか意見をいただきたい。

議長：実際には、三橋記念国際交流基金を使い切ったら留学支援を終了と考えていたが、教室としては続行して欲しいとの意見がある。資金をどう調達していけばいいかを考えなくてはならない。

堤弁護士：今回の件は、今日の理事会での意見を踏まえ、国際委員会で決定し、理事会で承認するというところでどうか。

吉野理事：同窓会として留学支援を続けるかを、先ず決定してから、決めることと考える。教室が希望することと、同窓会が希望することは必ずしも一致しない。

議長は、

- ① 今回の結果について、国際委員会で審議して選考結果報告書をまとめる。
- ② 資金の拡充策、選考規則の見直し案の作成を国際委員会に要請する。
- ③ 留学援助は、三橋基金を使い切ったら終了の方針としていたので、基金の補充策も含めて時間をかけて審議する。

と説明し、その可否を議場に諮ったところ、異議なく承認された。

### 第4号議案 令和4年度刀林賞選考結果の件

島津元秀委員長は、3月15日に刀林賞選考委員会が開催され、以下の3論文が選出されたことが報告した。

刀林賞 安藤知史君

刀林奨励賞 平野佑樹君  
〃 大久保祐君  
議長はその可否を議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

第5号議案 刀林賞選考委員会委員交代の件

島津元秀委員長は、刀林賞選考委員会委員の交代が報告した。

退任 加勢田静君

就任 加藤良一君

議長は、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

第6号議案 新入会者承認の件

議長より、新入会者の紹介があった。

新会員 里館均君（稲城市立病院）

推薦者 北川雄光（一般・消化器外科教授）

齋藤淳一（稲城市立病院院長（72回））

議長がその可否を議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

里館均君より挨拶があった。

第7号議案 コピー機変更の件

議長は、賃貸業者との契約更新により、事務局のコピー機を変更することを説明し、議場に諮ったところ、満場異議無く承認された。

以上、議事の経過の要領および結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席監事が次に記名押印する。

令和5年3月29日

議事録署名人

代表理事

松本 純夫 

出席監事

熊井 浩一郎 

尾原 秀明 